

審査項目（道路の新設・改築）

区 分		基 準 値	計 画 値	結 果	備 考	
災 害 の 防 止	切 土	法 面 勾 配	土質・高さに応じた勾配（軟岩：60度）	1：1.5	適	
		切 土 量		116,300m ³		
		最 大 高 さ	10mを超える場合は、5～10m毎に幅1～2mの小段を設置	H=19.0m		
		小 段 幅		W=1.5m		
		小 段 間 の 高 さ		H=7m		
		崩 壊 防 止 措 置	雨水流入等の場合は、排水施設を設置	排水施設を設置		
		擁 壁 の 設 置	区域外に面する法面や、人家・学校等に近接する法面は擁壁を設置	-		
	盛 土	法 面 勾 配	土質・高さに応じた勾配（礫 1：1.5）	1：1.5～1：1.8	適	盛土勾配はNEXCOの『設計要領第一集土工建設編』による
		盛 土 量		28,000m ³		
		最 大 高 さ	原則 15m以下 15m 以上となる場合は所定の安全率（常時 1.5、地震時 1.2）を確保すると共に、盛土高 15m 毎に独立したアース堰堤となるように設置	H=7.0m		
		小 段 の 設 置	5～7m毎に1～2mの小段設置	H=5.0m 毎に 1 m		
		崩 落 防 止 措 置	雨水流入等の場合は、排水施設を設置	排水施設を設置		
	擁 壁	L 型	安定計算上安定すること	別紙のとおり	適	
		逆 T 型	常時 1.5 以上			
		重 力 式	地震時 1.2 以上			
ブ ロ ッ ク 積		土木部ブロック積(石積)擁壁構造基準による				
砂 防 施 設			-			
	仮設沈砂池	必要容量 ①須川上り PA 280 m ³ ②須川下り PA 90 m ³ ③須川 PA 斜路部 15 m ³ ④須川本線 183 m ³ ⑤須川桁下 410 m ³ ⑥須川右岸 746 m ³ ①須川桁下仮設 58 m ³ ②須川本線 1,000 m ³ ③須川上り PA 15 m ³ ④須川下り PA +⑤須川上り PA 仮設 540 m ³	① 311 m ³ ② 117 m ³ ③ 16 m ³ ④ 183 m ³ ⑤ 452 m ³ ⑥ 748 m ³ ① 58 m ³ ② 1,072 m ³ ③ 15 m ³ ④ + ⑤ 304 m ³ + 257 m ³ = 561 m ³	適		

	堆砂柵	必要容量 A 3.043 m3 B 3.578 m3 C 0.231 m3 D 0.115 m3 E 0.225 m3 F 0.059 m3 G 0.420 m3 0.101 m3 H 取りやめ 0.358 m3 I 0.283 m3 0.233 m3	A 3.044 m3 B 3.580 m3 C 0.231 m3 D 0.115 m3 E 0.225 m3 F 0.059 m3 G 0.450 m3 0.101 m3 H 取りやめ 0.358 m3 I 0.283 m3 0.233 m3		
	河川改修	下流河川に1/1の流下能力がない場合	-		
	残土処理方法	搬出先を明記し許認可(写)を添付すること	-		
水害の防止	仮設調整池の基数		3基 1基		適
	堤体の構造	原則コンクリート(掘込式可) コンクリートの場合の安全率 常時 1.5以上 地震時 1.2以上	①②③ 掘込式 ① 掘込式		
	堤体の高さ	原則として15m未満(築造式)	① 須川上りPA 3.3m ② 須川下りPA 1.9m ③ 須川PA斜路部 3.1m ① 須川桁下仮設 2.3m		
	堤頂厚	掘込式4m以上	-		
	上流法勾配 下流法勾配	掘込式の場合1:2.0以上 コンクリートの場合安定計算による	-		
	仮設調整池 調整容量	必要容量 ① 須川上りPA 3,408 m3 ② 須川下りPA 2,438 m3 ③ 須川PA斜路部 742 m3 ① 須川桁下仮設 246 m3	計画容量 ① 3,460 m3 ② 2,461 m3 ③ 773 m3 ① 189 m3		
	許容放流量	全体: 16.6 mm/h ① 須川上りPA 15.5 mm/h以下 ② 須川下りPA 16.6 mm/h以下 ③ 須川PA斜路部 16.6 mm/h以下 ④ 須川本線(本設) 15.1 mm/h以下 ⑤ 須川桁下(本設) 16.6 mm/h以下 全体: 17.6 mm/h ① 須川桁下仮設 17.8 mm/h以下 ② 須川本線(本設) 13.3 mm/h以下 ③ 須川上りPA(本設) 17.8 mm/h以下 ④ 須川下りPA(本設) 17.8 mm/h以下 Rc=15 mm/hを下回らないこと 又は24時間程度で調整池が空	全体: 16.5 mm/h ① 15.1 mm/h ② 16.4 mm/h ③ 16.3 mm/h ④ 15.1 mm/h ⑤ 16.5 mm/h 全体: 17.5 mm/h ① 17.8 mm/h ② 13.2 mm/h(22.8時間で空) ③ 17.7 mm/h ④ 17.8 mm/h		

		オリフィス	放流口断面 ① 須川上り PA 0.0241 m ² 以下 ② 須川下り PA 0.0292 m ² 以下 ③ 須川 PA 斜路部 0.0063 m ² 以下 ④ 須川桁下仮設 0.0021 m ² 以下	計画値 ① 0.0240 m ² ② 0.0289 m ² ③ 0.0062 m ² ④ 0.0017 m ²		
		放流管	流水断面積は管路断面積の3/4以下 ①須川上り PA 必要断面積 0.272 以上 計画放流量 1.684 m ³ /s ②須川下り PA 必要断面積 0.350 m ² 以上 計画放流量 1.261 m ³ /s ③須川 PA 斜路部 必要断面積 0.234 m ² 以上 計画放流量 0.385 m ³ /s ④須川桁下仮設 必要断面積 0.060 m ² 以上 計画放流量 0.091 m ³ /s	① 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 1.775 m ³ /s ② 3/4断面積 0.385 m ² (φ700) 流下能力 1.431 m ³ /s ③ 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 0.496 m ³ /s ④ 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 0.711 m ³ /s		
		余水吐の構造	100年確率降雨流量の1.5倍以上 ① 1.684 m ³ /s 以上 ② 1.261 m ³ /s 以上 ③ 0.385 m ³ /s 以上 ④ 0.091 m ³ /s 以上	① 1.745 m ³ /s ② 1.745 m ³ /s ③ 1.745 m ³ /s ④ 0.448 m ³ /s		
本 設 調 整 池	調 整 池	調整池の基数		4基		適
		堤体の構造	原則コンクリート（掘込式可） コンクリートの場合の安全率 常時 1.5 以上 地震時 1.2 以上	コンクリート またはブロック積み （築造式） 安全率は別紙		
		堤体の高さ	原則として15m未満（築造式）	① 5.8 m ② 2.8 m ③ 8.9 m 6.8 m ④ 9.6 m 5.0 m		
		堤頂厚	掘込式4m以上	—		
		上流法勾配	掘込式の場合1:2.0以上	—		
		下流法勾配	コンクリートの場合安定計算による	—		
		調整容量	必要容量 ①須川本線 9,201m ³ ②須川桁下 624m ³ ③須川上り PA 5004m ³ ④須川下り PA 4095m ³	計画容量 ① 9,201 m ³ ② 625 m ³ ③ 5,004 m ³ 5,014 m ³ ④ 4,122 m ³ 4,111 m ³		

	許容放流量	<p>全体：13.9 mm/h 以下</p> <p>①須川本線 12.7 mm/h 以下 12.8 mm/h 以下</p> <p>②須川桁下 12.5 mm/h 以下</p> <p>③須川PA上り 12.9 mm/h 以下</p> <p>④須川PA下り 12.9 mm/h 以下 13.0 mm/h 以下</p> <p>Rc=15 mm/h を下回らないこと 又は 24 時間程度で調整池が空</p>	<p>全体：13.6mm/h</p> <p>① 12.4 mm/h (23 時間で空)</p> <p>② 12.5 mm/h (23 時間で空)</p> <p>③ 12.6 mm/h (23 時間で空)</p> <p>④ 12.6 mm/h (23 時間で空)</p>		
	オリフィス	<p>放流口断面</p> <p>① 須川本線 0.0366 m² 以下</p> <p>② 須川桁下 0.0032 m² 以下</p> <p>③ 須川上りPA 0.0224 m² 以下 0.0180 m² 以下</p> <p>④ 須川上りPA 0.0191 m² 以下 0.0189 m² 以下</p>	<p>計画値</p> <p>① 0.0366 m²</p> <p>② 0.0032 m²</p> <p>③ 0.0224 m² 0.0180 m²</p> <p>④ 0.0190 m² 0.0189 m²</p>		
	放流管	<p>流水断面積は管路断面積の3/4 以下</p> <p>①須川本線 必要断面積 0.488 m² 以上 計画放流量 4.267 m³/s</p> <p>②須川桁下 必要断面積 0.147 m² 以上 計画放流量 0.297 m³/s</p> <p>③須川上りPA 必要断面積 0.779 m² 以上 計画放流量 2.362 m³/s</p> <p>④須川下りPA 必要断面積 0.765 m² 以上 計画放流量 1.946 m³/s</p>	<p>①須川本線 3/4 断面積 0.502 m² (φ800) 流下能力 4.446 m³/s</p> <p>②須川桁下 3/4 断面積 0.283 m² (φ600) 流下能力 0.711 m³/s</p> <p>③ 須川上りPA 3/4 断面積 0.785 m² (φ1000) 流下能力 2.385 m³/s</p> <p>④ 須川下りPA 3/4 断面積 0.785 m² (φ1000) 流下能力 2.015 m³/s</p>		
	余水吐の構造	<p>100年確率降雨流量の1.5倍以上</p> <p>① 4.276 m³/s 以上</p> <p>② 0.297 m³/s 以上</p> <p>③ 2.362 m³/s 以上</p> <p>④ 1.946 m³/s 以上</p>	<p>① 5.237 m³/s</p> <p>② 0.448 m³/s</p> <p>③ 2.618 m³/s 3.491 m³/s</p> <p>④ 2.327 m³/s 2.909 m³/s</p>		
水資源の確保	<p>*水量の確保</p> <p>*濁水の流入による水質悪化が無いこと</p>	<p>著しい支障が無いこと</p> <p>必要がある時は、貯水池または導水路の設置</p> <p>その</p> <p>他の措置をすること</p> <p>土砂の流出による水質の悪化を防止すること</p>	<p>水源を依存する地域は無い。</p> <p>仮設沈砂池(工事中)、沈砂枡(施工後)、土砂留柵を設置する。</p> <p>本線の雨水は直接放流させず油水分離枡を経由させる。</p> <p>水質確保のため沈砂池、堆砂枡を設置している。</p>	適	
環境の保	<p>森林率</p> <p>周囲林帯</p>	<p>森林を一時的に転用する場合には、利用後における現状回復等の事後措置(森林への復</p>	<p>—</p> <p>—</p>	適	

全	残置森林面積	旧) が適切に行われていること。 法面は、可能な限り緑化し、小段には必要に応じ客土等を行い、植栽する。 切土・盛土法面は、適切に緑化 残置・造成森林は、適正に維持管理 市街地・主要道路等からの景観を維持する必要がある場合には、早期緑化に努めること 小山PA は富士山への眺望地点となる。PA のデザイン検討は今後行うが、PA からの眺望点の確保、緑陰の確保を行う。	0.0000 ha		
	造成森林面積		0.5111 ha		
	造成緑地面積		0.5029 ha		
	緑化計画		0.0590 ha		
	その他		5.4449 ha		
			5.4695 ha		

直近の許可申請時の付帯意見への対応

付帯意見（平成28年3月18日答申）	付帯意見への対応等
なし	なし